

令和6年3月26日

保護者の皆様

千葉市立坂月小学校
校長 吉田 倫子

教育活動についてのアンケートのまとめ

保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきまして、深く感謝申し上げます。先日は、教育活動についてのアンケートにご協力くださり、ありがとうございました。アンケートの結果について、以下のようにまとめました。今後、この結果やいただいたご意見を教育活動に活かしていきたいと思っております。これからもご協力よろしくお願いいたします。

【どのようなお子さんに育ててほしいですか】

〈低学年〉

- 思いやりのある子。(5名)
- 人にやさしくできる子。(4名)
- 人の気持ちがわかる子。(4名)(人の気持ちを考えて行動できる子)
- 素直な心を持てる子。(3名)
- 周りの人一人一人の個性を認め合える子供になってほしい。
- 自分の意思を持ち、相手に優しく思いやりのある子。
- 素直な心を持ち続けて、つまずいたり落ち込んだりしても投げやりにならずに強い心を持った子になってほしい。強く優しい子になってほしい。
- 自分も他人の気持ちも大事に考えられる人間に育ててほしいです。
- 自分の考えや思いをきちんと伝えられ、人に優しくできる子供になってほしいです。
- 失敗を恐れず、いろいろなことにチャレンジしてもらいたいです。
- ありがとう、ごめんなさいを当たり前と言える子に育ててほしい。
- 人の痛みがわかる子でいてほしい。
- どんな時も笑顔が多い子でいてほしい。
- 何事にもチャレンジしてみる子。
- 人の気持ちを考えて、何でも、どこでもしゃべらない人。(多分、軽はずみな発言はしない意かと…)
- 人からの意見やアドバイスを素直に聞ける人。
- 自分が嫌だと思ったことを他人にしない。
- ダメなことを言葉にできる。
- 誰にでも優しく、手をあげない子になってもらいたい。
- 素直で何事も一生懸命取り組む子。
- 自分の好きな事を見つけてやり通す子。
- 自ら切り開いていける子。

〈中学年〉

- 忍耐強い子
- 優しい子
- 元気に優しい子
- 人に優しさと尊敬の心を持てる人
- 自分も大切にできる人
- 向上心、向学心のある人
- 優しく人に寄り添えるような子
- 人のせいにしないで、どんな時でも感謝の気持ちを持ってほしい。

- ・自分も周囲の人もすべての人の気持ちを大事にできる人に育ててほしいです。(2名)
- ・いろいろなことに興味をもち、何事にも積極的に行動できる人になってほしいです。
- ・人の気持ちがわかる思いやりのある子に育ててほしい。

〈高学年〉

- ・自分の考えをきちんと伝えられる人
- ・周囲に目を配り、さりげなく手を差し伸べられる人。
- ・思いやりのある素直で努力する子。
- ・思いやりのある子
- ・何事にも失敗を恐れずチャレンジする子
- ・人にやさしさと尊敬心を持てる人。
- ・自分も大切にできる人。
- ・向上心、向学心のある人。
- ・自分に厳しく他人に優しくできる子。

【本校の教育活動について】

〈低学年〉

- ・校長先生が入学式の際に呼名のあと「〇〇名の入学を歓迎します。」と言ってくださったことが、とてもうれしく、温かい言葉だなと感じました。
- ・泣き虫な娘にすぐに気づいて寄り添ってくださっていること、本当に感謝しています。ありがとうございます。
- ・毎朝小学校の前の横断にいてくださって、本当に感謝しています。
- ・インフルエンザで療養中は、電話や自宅に配付物を届けてくださり、本当に丁寧な学校に通わせていただいているんだと感じました。
- ・よく見ていただいていると思います。ありがとうございます。
- ・感謝の気持ちしかありません。いつもありがとうございます。
- ・子供のことを考えて行事やイベントを通してたくさんのご経験させてくださっていると思います。人数が増えてきていますが、まだ少ないほうなので、学年の垣根を越えてこれからも学校全体で仲の良い関係を築ける縦割り班があるといいと思います。
- ・いつも校内がきれい。ゴミなどが落ちていない。
- ・普通の学習だけでなく、行事など他の活動でも何のために行っていて、どんな力をつけていくのか、常に明確で子供の伸びが実感できます。
- ・本来なら、自分の子にそのような力はなかったと思いますが、担任の先生が良いところを見てください、ほめて伸ばしていただいたおかげで子供が自信をもち、意欲的に取り組むようになりました。感謝しています。
- ・体験活動、季節の行事、地域の活動等、坂月小ならではの活動は子供の興味を育てるよい機会となりました。給食室の先生方をはじめ、図書館、保健室、用務員の先生、いろいろな先生方のおかげだと思います。ありがとうございます。
- ◆口の悪い子、暴力的な子がいるので、しっかり指導してほしい。叩かれた、蹴られた等子供から何度か聞いたことがある。
- ◆子供本人が気にしていること等をからかわれて嫌な気持ちになったことがある。
- ◆集団登校の時間が早すぎる。
- ◆セーフティーウォッチャーがいないので、親が一緒に行っている。誰かつけてほしい。
 - ← セーフティーウォッチャーはボランティアでしていただいております。常時募集しております。お近くにご協力いただける方がいましたら、教えてください。保護者の方も歓迎です。

〈中学年〉

- 学校にはいつも大変お世話になっていると思っています。日頃より、本当にありがとうございます。
- いろいろと体験させていただいているようで、子供たちが楽しみにしたり、取り組んだりしている様子が見ていてうれしいです。校長先生、教頭先生、石田先生も授業や行事の指導に深くかかわってくださるようで、子供からの話を聞いて、ありがたいなと思います。地域の方々との関わりも多いようで、よいなと思っています。
- ◆宿題の出し方について、ほぼ1年間「自学」だったので、親御さんの状況によっては、自学での学習についてサポートしきれず、また、学校で今このあたりを学習していて、どのあたりでつまずきが多いのかを把握できず、学力の差が開くのではないかと考えていました。宿題の内容によって、自宅ではどこを補うべきかという参考にもなるので、毎日自学になるのは少し親子共々きつかったです。
- ◆クラス内で授業に集中できない様子があるということを耳にしました。本人に聞いてもあまり状況がわからないため、来年以降も含め心配しています。
- ◆クラスでうるさくする人がいて、授業に集中できないと言うことがある。

〈高学年〉

- わかりにくい年ごろになりましたが、よく見ていただいていると思います。ありがとうございます。
- 毎朝、登校の際、校長先生が声をかけてくれました。子供はあいさつの習慣がつけました。ありがたいです。
- 人数が少ない分、学年に関係なく関わることができるのが良い。◆代わりに、トラブルが起きたり、クラスの関係性が悪化するとなかなか改善しない。

子供から

【学校であった、うれしかったこと、楽しかったこと】

〈低学年〉

- 友達と遊んだ（鬼ごっこ、ブランコ、縄跳び等）こと。（6名）
- 長縄が楽しかった。（4名）
- 縄跳びが上手になって嬉しかった。（3名）
- リース作りが楽しかった。（3名）
- 「さるかに」の練習が楽しかった。（2名）
- 運動会
- 長縄ができるようになって嬉しい。
- 加曽利貝塚で、6年生のお兄さんとお弁当が食べられて嬉しかった。
- 先生に褒められて嬉しかった。
- 体育が楽しい。
- 「さるかに」の練習が楽しかった。
- アサガオの花が咲いて嬉しかった。
- たくさん友達ができて嬉しかった。
- 給食がおいしくて嬉しかった。
- 動物公園に行ったこと。
- 鉄棒のできる技が増えて嬉しかった。
- 「1mの長さだと思ふところでテープを切ってみよう」が楽しかった。
- 長縄大会で優勝できたこと。
- 分数を初めて習ったこと。
- 1, 2年生で雪遊びができたこと。

- 体育の跳び箱が楽しかった。
- 友達の笑顔が見られたこと。

〈中学年〉

- 校外学習に行けて楽しかった。(14名)
- 友達と遊んで楽しかった。(7名)
- クリスマスのお楽しみ会が楽しかった。(7名)
- プールが楽しかった。(4名)
- 体育のハンドパスボールが楽しかった。(3名)
- みんなと元気に勉強できて楽しかった。(2名)
- 先生に会えることが嬉しかった。
- なかよし班活動であまり遊ばない人と一緒に何かできること。
- たくさんの友達に会えること。
- みんなで一緒に運動できてうれしい。
- 友達も増えて嬉しい。
- 二重跳びができて嬉しかった。
- 給食がおいしかった。(2名)
- 学習参観、楽しくできて嬉しかった。(3名)
- 運動会で2等をとれて楽しかった
- ノートを配ったら、「ありがとう。」と言われて嬉しかった。
- テストでよい点をママに褒められて嬉しかった。
- 運動会の時、頑張って褒められて嬉しかった。
- 低学年と仲良くなった。
- 新聞づく。
- 長縄大会(2名)
- 体育(2名)
- 書き初めて金賞が取れて嬉しかった。
- 困っている時に友達が「大丈夫？」と声をかけてくれた。
- 友達が「一緒に遊ぼう。」と言ってくれた。(2名)

〈高学年〉

- テストで満点(良い点)が取れた時。(6名)
- 友達と(仲良く)遊ぶこと(5名)
- 天候が悪くなり、早帰りになったこと(3名)
- 褒められたこと(3名)
- クリスマス会(2名)
- 給食で好きなものが出たとき(2名)
- 1年生と一緒に掃除をしたり休み時間に過ごしたりすることが楽しかった。(2名)
- なかよし班での遠足
- 前までは話をしていない人がいたけど、今はみんなと仲良く話している。
- クラス全員が出席したとき。
- 体育
- 陸上大会でハードルが跳べたこと
- 長縄大会
- 移動教室
- 農山村留学

【まとめ】

1 グラフより

設問4：何事にも一生懸命に取り組もうとしているか？

職員と子供の評価は「できる・おおむねできる」との回答が93%を超えているのに対し、保護者の「できる・おおむねできる」との回答は84%と約10ポイントの差が出た。これは、学校での多種多様な場面での活動の様子やそれまでの過程を実感したり、見たりしている子供や職員と、その時の様子を単独で目にされる保護者の方との立場の違いが、差に表れていると考えられる。学校は、子供たちの活動の様子やそれまでの過程を保護者の方に伝えていくことにより、この差は縮まるのではないかと考える。

設問6：友達と仲良くできているか？

職員は全員が「できる・おおむねできる」と回答しているのに対し、子供、保護者の方の中には「あまりできない・できない」と回答された方がいます。職員は学級(又は学校)全体として捉えて回答していますが、子供、保護者の方は、個人として回答しているため、違いが表れたと考えられます。この値は昨年度よりは改善しています。しかし、「あまりできていない・できない」と感じている子供、保護者の方がいることを学校は念頭におき、子供同士の関係を今後もしっかりと見守り、支援していく必要があります。

設問15、16：困ったことを相談しているか？ 聞いてもらえているか？

こちらも設問6同様に、職員と子供・保護者の方との感じ方に違いが生じていました。学校は「聞いているつもり」「話しやすい関係を作っているつもり」になっている部分があったのかもしれませんが、子供や保護者の方の話に真摯に耳を傾け、一緒に子供たちがさらによい学び、成長ができるように考えていきたいと思えます。

2 記述より

貴重なご意見をありがとうございました。今年度は年度途中でコロナが明け、子供たちの健康状態や社会の情勢を見ながら、通常に近い教育活動に少しずつ戻していきました。

皆様の記述から、低学年、中学年、高学年と成長していく中で、保護者の皆様の子供たちへの変わらぬ願いと、変わっていく願いがあることを実感しました。子供たちも同様に、どの学年でもうれしいこととして挙がるのは、友達とのこと、ほめられること、できるようになったことです。わかってはいたつもりですが、改めてアンケートとして集計し、結果に表れると、実際にこれらの子供たちが実感できるような指導が十分だったか、見直す必要を感じました。

今年度の活用を振り返り、内容を精選しながら次年度の準備を進めることが大切だと思います。より良い学校にするためにも、いただいたご意見を参考に、教育活動の進め方の改善に役立たせていただきます。

今後とも坂月小の子供たちの健やかな成長のために、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。